

## 放送番組審議会議事録

- 1 開催年月日 平成 27 年 10 月 14 日〔水〕 19:00～
- 2 開催場所 奄美市名瀬金久町 4 番 3 号 2 階 あまみエフエム会議室 にて
- 3 出席委員 委員総数 7 名 出席委員数 5 名  
出席委員の氏名  
楠田 哲、大山 綱治、且 友紀子、西加 清司  
放送事業者側出席者名  
丸田 泰史、渡 陽子、中田 健治、作井 美由紀

### 4 議題

審議(「ナキヤワキヤ島自慢」について)

### 5 議事の概要

- (1) 審議(「ナキヤワキヤ島自慢」について)
- (2) 次回の審議議題について

### 6 審議内容

- (1) 番組内容の審議(「ナキヤワキヤ島自慢」について)

#### 楠田委員長:

第4回目の審議会です。すっかり涼しくなってきました。

今日は「ナキヤワキヤ島自慢」というコーナーについて、みなさんからざっくばらんなご意見をいただけたらと思います。

内容は、「宇検村部連」と「笠利町手花部」です。

まずは私から感想を。出演する方々が、生年月日を言うので、時代背景が想像しやすかったです。「ミヤクチカソジョ」というのを全く知らなかったし、宇検村に行く機会もないんですが、是非行ってみたいと思いました。

集落の人たちの交通・出産といった不便な話をしているんだけど、それを懐かしんで楽しく会話しているのを聴くと、ほのぼのしました。一番笑ったのは、応援歌でした。「ひよろひよろぐにやぐにやなんですか～」に爆笑しました。

宇検のところで気になったのが、宇検のいいところを質問したときに、「なにもないよ、発展しないよ」ということを言っていたので、リスナーとしては気になる部分ではありましたが、生の声を伝えて、編集しないで流していたところに関心しました。

それから、手花部の方は、知り合いもたくさん出ていました。手花部独特のタカタカしたしゃべり方を聞くと、笠利の人間なのでしっくりきます。

昔の話、「アブラモチ」や「ミキ」について、楽しく聞くことができました。

#### 大山委員：

ラジオは、移動中によく聴きます。時間帯的にも聴きやすい時間だと思います。シマジマの方言の違い、表現の仕方が違うというのは、方言好きな私としては、とてもおもしろいです。歌の話もでしたが、昭和一桁代の人たちは、どっかに応援歌があったりするんですよね。以前も戸円(集落名)でもありましたが、歌詞がおもしろくて、応援歌だけを集めるのもおもしろいものができるんじゃないかと思いました。当時は、各町村で地区対抗で競技事があって、元気だったのが感じ取れるので、今のワキャ(わたしたち)は、気前が足りないのかなという気持ち。

「ナキヤワキャ島自慢」を聞いていると、いかに、昭和一桁代、大正生まれの人たちの頑張り、戦後の厳しい中を乗り越えて来た先輩方ですよね。だけど、聴いてて、楽しい。さすがよね、と思いました。昔の苦労話を笑い話でふっとばすので、非常に楽しい。

リスナーからの声があれば、紹介してほしい。聞いてて「懐かしいや〜」「宇検村のあま(あそこ)じゃが」「手花部のあまじゃが」といった気持ちになる。ラジオ放送が一方通行にならず、ちょっとしたキャッチボールもできるんじゃないか。懐かしがっているリスナーさんは全国にいるかと思います。

#### 且委員：

すっごく面白くて、ずっと笑って聞いてました。

いつもは通勤途中、タイミングが合えば、聴いています。生活のことを方言でしゃべってくれるので、この言葉はこれだろうという予想ができます。方言の勉強にもなって、昔のことも知れるし、いいなと思います。

じいばあから元気をもらえた感じがして、楽しかったです。記録として音として残って行くのもいいなと思いました。

#### 西加委員：

楠田さんからもお話があったように、宇検のお婆の優しいしゃべりと、手花部のお婆の明るい感じ、気質が表れていると思って聴いていました。

自分が住んでいるところも、小さい集落なので、昔のアンマー(ばあちゃん)の話は、一緒に住んでいたばあちゃんのことや、母の苦労話も思い出しながら聴きました。戦時中の話も聴きながら、懐かしい思いになりました。ほのぼのとした気持ちで、現場に行きました。

言葉も完全にはわからないですけど、会話の中で、「こう言っているんだろう」と予想しながら聴けるので、方言の勉強にもなる番組だと思いました。

#### 楠田委員長：

大山さんに尋ねたいんですけど、「こしょゆむた」という言葉が出てきたんですけど、あれがよくわからなくて、どういうことなんですか？

**大山委員：** 人の裏を取るというか、相手をからかうような、茶化すような言葉のこと。

**西加委員：** あまりかわいくないひとのことを、「きよらむん(美人)」というようなかんじですよ〜

**事務局 渡：**

このコーナーを担当するようになったのは、今年の5月からです。行けていない集落がたくさんあるので、集落ごとに踊りも違えば唄も違えば言葉も違うということで、そういったところを出すためには、個人の生業から聞いていってます。中には、恥ずかしがり屋の方がいるので、リラックスして話せるようにするのが目標です。

行けていない集落、是非言ってほしい集落があれば、紹介してください。

**大山委員：**

1回の放送はすごく短いですよ。移動しながらスパン！と聞く、だけど(耳にも)残ります。それが1週間続くもんだから、明日も明日も！という感じで、引っ張り込まれていく。掴みはいいと思います。

**事務局 渡：**

集落に1人は、絶対面白い人がいるじゃないですか。

その方に出てもらったり、集落の伝説のおじいの話、私たちが知らないことですが、よそジマでも共感できることを放送していけるようにしていこうと思います。

特別企画で、100歳のじいちゃんばあちゃんをまわりました。今録っておかないと、次はないかもしれない。早くあちこち回って、みなさんが元気なうちに録ってまわろうと思っています。

**大山委員：**

週の始まりは、みなさん固い表情が想像できます。回を重ねていくたびに、しゃべり方が流暢になっていくのがわかる。聞いてて、非常に忘れかけていた表現を思い出しました。聞いて(言葉が)わからなくてもいいんですよ。島のユムタ(方言)をウッチェンキヤ(高齢の方々)で話すことを耳に入ってくれば、それでいいと思います。

**西加委員：**

出来事なんかも、聞いてたら面白いしね。「ミヤウチカンジョ」なんかも、何かをもらいにいくときの話、わかる気がするやーと思って聴きました。

**事務局 丸田：**

「シマあるある」が出て来た時に、「懐かしいや〜」「あげー(感嘆詞)」となったらうれしいというのはありますね。

**楠田委員長：**

「アブラモチ」って、最後までよくわからなかったんですが、「モチテンプラ」ではないんでしょう？

且委員： イモが入ってないから、違いますよね？

大山委員：

「アブラモチ」も、シマジマで違うからね。

あの頃の餅米といたら、高級ですから、それに替わるモチなんだろうなと想像できたけど。

事務局 渡：

自分なんかのシマも必ず1つは自慢があって、内地にいる出身者にも聞いてもらって、「懐かしいや」と思ったり、誇りに思えるようにと、あえてウッチュ(高齢の方)にインタビューしています。

大山委員：

シマっていても、ソテツガユを食べていたり悲惨なことしかないような気がするけど、ウッチュンキヤが話すと、そんなことへでもなかったように話す。今までの戦中戦後の食糧難の中で、悲観的なことはなく、明るさがあって、元気をもらいますよね。

事務局 渡： そういった話を聞けるように、したいと思います。

大山委員：

「シマユムタ」を思いっきり引き出してください。

標準語を使うと「スバ(舌)かむから、無理して使いしょんな(使うな)」とも言いますから。

事務局 丸田： 方言も、北部と南部と違うと思うんですが、楽しめましたか？

且委員：

私の両親は、笠利の出身なので、毎日方言は聞いています。どっちかという、手花部は十分に楽しめました。あのパラパラした感じ。

大山委員：

ウッチュンキヤがしゃべる時の、丁寧な方言、相手を敬っている言葉がきちっとしゃべれている。いいですね。今の50～60代の方はしゃべれないですから。

友達同士でしゃべると友達同士の方言が変わって、渡さんの時になるとちゃんと丁寧にしゃべってる。残すべき方言が、いっぱい残っています。

楠田委員長： 集落の宝になる、記録になると思います。

且委員： 自分の集落にもきてほしいと思う人もたくさんいるんだろうな

**大山委員：**

内地で聴いていたら、いつか自分の集落も流れないかなという期待感もあると思う。  
リスナーからの声もください、という呼びかけも是非してください。

**楠田委員長：**

方言が全くわからない、20代前半の番組審議委員がいれば、反応を聴いてみたいですね。

**大山委員：**

今、小学校・中学校でも方言劇を取り入れているところがありますよね。そこで、こういったもの(ナキャワキャ島自慢)を取り入れたらいいのではないかと思う。

**事務局 渡：**わたしたちもこれからどんな伝え方があるのかということが、課題でもあります。

**楠田委員長：**今後も期待しています。

## (2) 次回の審議議題について

事務局より、次回の審議議題「ディ！お茶ど！」「お昼 3 時のディ！お茶ど！」についての説明があり、次回審議会の日程が 12 月 16 日水曜日に決定し、閉会する。

## 7 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置及びその年月日

次回審議会までに改善に努める

## 8 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法及び年月日

- ① 自社放送:平成 27 年 11 月 7 日(土曜日)6:30～放送
- ② 書面の備置き:平成 27 年 11 月 7 日(土曜日)から、当該事項を記載した書面(議事録)を問う法人事務局へ備置き、聴取者の閲覧希望に対応
- ③ インターネット:平成 27 年 11 月 7 日(土曜日)より当法人インターネットのホームページに転載

## 9 その他の参考事項 なし